

伊藤道郎に捧げる日本組曲と三つのジェスチャー

三つのジェスチャーがホルスト作曲「日本組曲」を軸に集結し、平成日本の舞物語を創造！

『平将門伝説：苅萱姫物語』^{さくら}

10月23-24-25日

Wednesday

Thursday

Friday

3gestures

劇場

シアターX

カイ

東京両国



Pizzicato

Michio.



3gestures



1910年代、イギリスで活躍していた舞踊家伊藤道郎は作曲家ホルストに日本曲を口伝えて歌って聞かせ、ホルストはその旋律を使い組曲として完成させた。伊藤道郎は曲の存在を知らぬままアメリカへ渡り帰国。一世紀を経て今年演出家白井啓治の脚本・演出で、3つのジェスチャーによる平成日本の舞物語を、東京両国シアターXにて上演する。

「ことば座」と「朗読手話舞」

ことば座は、茨城県石岡市にあるギター文化館を発信基地として、霞ヶ浦を中心とするその周辺地域の歴史・文化をモチーフとした詩物語を創作し、その朗読にのって手話を基軸とした舞に表現する、という新しい舞台表現を実践する劇団である。朗読手話舞は、小林幸枝という聾啞者と出会う事で創出された新しい舞台表現であり、從来からある手話ダンスとは違い、異なる表現言語文化が互いに自言語に翻訳しあうことで、意識的融合をつくり出し、複数の異なる表現文化が相互に作用、相乗して新しい効果として構築されたものである。

『平将門伝説：苅萱姫物語』

伊藤道郎に捧げる「日本組曲」と3つのジェスチャー

演出ノート：白井啓治

ホルストと言うと「惑星」が思い起こされる。この惑星を作曲していた同時期に、伊藤道郎のために書かれた「日本組曲」が存在していた。ホルストの自筆楽譜の表紙の書き込みに「この組曲は、マリオネット・ダンスを除くすべての主題旋律を提供してくれた日本の舞踊家伊藤道郎のために書かれた」と明記されている。しかし、この「日本組曲」は、伊藤道郎がロンドンを離れてアメリカに渡ったため、道郎がこの楽曲の存在を知る事はなかった。

ミチオイトウ同門会の現会長である柏木久美子がことば座の朗読舞と共に演した時、初めてこの話を聞いた。彼女は、伊藤道郎の孫弟子としてこの曲で舞ってみたいという。私は、日本組曲から受けた印象とことば座の進めている表現の方向性に一致点を見出した・・・結果、新説日本組曲「平将門伝説・苅萱姫物語」の本格舞台化への十分な可能性を確認するに至った。

ミチオイトウ同門会は、2013年で設立50周年を迎える。伊藤道郎のために書かれた「日本組曲」を主題とした朗読舞劇「平将門伝説・苅萱姫物語」公演は意味深く、日本の舞踊劇界の先駆者であった伊藤道郎を再認識してもらう意味でも、大いに意義のある公演となる。

さらに、日本が誇るパントマイムアーティストであるヨネヤマママコ氏に話をしたところ「アメリカに渡る前に伊藤先生に大変かわいがっていただいた・・その時は気づかなかつたが、先生は伝えてほしかったのだと思う。」と語った。そんな縁もあり、ママコさんから賛同と共に演を頂いた。こうして伊藤道郎に捧げる3つのジェスチャーとしてホルストの日本組曲を主題とした「平将門伝説・苅萱姫物語」は誕生した。

日本組曲と朗読舞劇 3つのジェスチャー

①テンジェスチャー ②ダンス・マイム ③手話舞

伊藤道郎に捧げる日本組曲を主題とする朗読舞劇「平将門伝説・苅萱姫物語」は、映画・溝口作品の雨月物語、黒沢作品の羅生門などにみられる日本の一つの歴史的原風景としての物語に並ぶものであり、①伊藤道郎のテンジェスチャー ②ヨネヤマママコのダンス・マイム ③小林幸枝の手話舞の3つのジェスチャーによるコラボレーションとして協創される舞物語である。アバンギャルド、コンテンポラリーという言葉に最も似つかわしい舞台となるだろう。

日本組曲の朗読舞劇に表現することの意義を述べるとすれば、新説日本組曲として「平将門伝説・苅萱姫の物語」をもって、ダンス・マイム、そして手話舞のコラボレーションによる「協創」という事を尽きる。

READING

朗読 しらゐひろぢ HIROJI SHIRAI

大阪府出身。63年演劇活動を開始。67年映画に転向し東映と契約。69年脚本/演出家として独立する。87年から09年まで日本シナリオ作家協会会員。06年劇団ことば座を創設。



伊藤道郎 MICHIO ITO

ダンサー、振付師。東京市生まれ。伊藤為吉の長男。第二次世界大戦前は海外で活躍、詩人イエーツと共に日本の能を研究し、イエーツの代表作である戯曲「鷹の井戸」の完成に貢献した。ニューヨーク・ブロードウェイではミュージカルの振り付けを担当している。戦後はGHQに接収されていたアーニー・パイル劇場で、本国以上の演出を行なって見せた。演劇人の伊藤薰朔と千田是也は弟。俳優のジェリー伊藤は次男。

MIME



Photo Yukio Morinaga

ヨネヤマママコ
MAMAKO YONEYAMA

ダンスマイム ヨネヤマママコ / MAMAKO YONEYAMA Mime



KEIICHI HASHIZUME

MUSIC 橋爪恵一



KUMIKO KASHIEAGI

DANCE 伊藤道郎のテンジェスチャー

●

小林幸枝 手話舞

Sign language

聾者ならではの動作表現の中に、小林の個性として有するスケール感を演出家の白井啓治に見出される。手話を基軸にした現代の仕舞として創出された手話舞を演じる唯一の聾女優。茨城県石岡市のギター文化館を発信基地として、「常世の国の恋物語百」に挑戦。これまで53舞台をこなしており、恋物語も32話になる。

SACHIE KOBAYASHI



SIGN



Vn. Vla. 中小路淳美 ATSUMI NAKAKOJI

東京芸大音楽学部器楽科卒業。卒業後、ウイーン、ロンドン等で研鑽を積む。フリーのヴィオラ奏者として、オーケストラ、室内楽、ソロなど幅広い演奏活動を行っている。紅茶インストラクターとしても活躍中。



編曲・Pf. 山本光 HIKARU YAMAMOTO

東京芸大別科終了。全国高校総合体育大会ファンファーレ作曲部門佳作入選。ことば座他クラシック、ジャズを中心に活動。今年現代舞踊協会主催夏期舞踊大学講座ピアノ伴奏を務める。

脚本・演出：白井啓治

音楽監督：橋爪恵一

舞台監督：久保田由佳里

舞台美術：兼平智恵子／小林一男

衣装：熊谷敬子

ヘアメイク：松橋亜紀

記録VTR：小松進

アナウンス：平山恵美子

制作協力：早田洋子

プロデュース：しおみえりこ

Tengesture Workshop 伊藤道郎のテンジェスチャーを体験してみませんか



9/7(土) 9/14(土) 9/21(土) テンジェスチャーとは…

テンジェスチャーとは、モダンダンスのパイオニア・イトウミチオがダルクローズのリトミックをもとにして新たにつくりだしたメソードです。AとBのそれぞれに10のジェスチャーがあり、呼吸や歩き方と共に全音符、二分音符、四分音符と動きます。バリエーションにリズムの変化や片手リード、ショルダーリードが加わります。テンジェスチャーは古くは俳優座養成所、最近では新国立劇場オペラ研修所でも教えられていました。現在、アメリカでのレパートリーダンスの指導を各地で行っています。

9月 7日 (土曜日) 17:30~19:00 コミューンX (カイ) 会場：両国シティコア2F

9月 14日 (土曜日) 17:30~19:00 ギャラリーX (カイ) 講師：柏木久美子

9月 21日 (土曜日) 17:30~19:00 コミューンX (カイ) 参加費：1回 1000円

ワークショップ参加者には、10月24日シアターXで公演の、伊藤道郎に捧げる日本組曲と三つのジェスチャー「平将門伝説：苅萱姫物語」のマチネとして位置付けて企画されている「伊藤道郎…継承されたメソードと音楽」の中でのテンジェスチャーのデモンストレーションに参加できます。デモンストレーション参加希望者には別途練習があります。奮ってご応募ください。

ワークショップ参加申し込み = kumiko2779@yahoo.co.jp *ワークショップ参加者には本公演の割引があります。

柏木久美子舞踊研究所 029-885-3458 カーニバルカンパニー 090-2564-3198

入場無料

Special Plan

講演会

10月24日 (木曜日) 16時~18時 シアターX 劇場舞台にて

さくら

平将門伝説：苅萱姫物語 | スペシャル講演会「伊藤道郎…継承されたメソードと音楽」

1960年代ぐらいまでの演劇・舞台を勉強した者にとって伊藤道郎は、大きな存在として目の前にありました。しかし、東京オリンピック以後の急激な文化の流れの中で、彼の偉大なる背は次第に小さくなってしまい、平成生まれの次代を担っていく若者達にはその名さえも忘れられようとしています。「惑星」の作曲家として皆さんご存知のホルストは「惑星」を作曲していた頃に、伊藤道郎自身から口伝えで日本の楽曲を聴き「日本組曲」を完成させました。今回、その「日本組曲」をモチーフにした舞物語が、伊藤道郎の最後の指導を受けたヨネヤマママコのリードで演じられます。この機に改めて、大先達者伊藤道郎について、触れてみたいと思います。

<特別講演> 司会：小峯健治 平山恵美子

●「日本組曲」と伊藤道郎 講師：東京音楽大学教授 武石みどり

●伊藤道郎の魅力 講師：井村恭子 佐藤桂子 伊藤弘子 伊藤胡桃

●今、ダンス・アーカイブが面白い！ 講師予定：正田千鶴 片岡康子 加藤みや子

*テンジェスチャー・デモンストレーション

10/24

Thursday

6/7-8

15:00

未来への扉
a Door to the Future
新国立劇場 | 中劇場

お問い合わせ: 03-5352-9999

主催: 新国立劇場 政策協力: (社) 現代舞踊教会

DANCE ARCHIVES in JAPAN 2014

ダンス・アーカイブ in JAPAN

日本の洋舞史100年を振り返るべく、過去の作品と「今」を代表する若手作品を組み合わせて上演する企画の第一弾。日本独自の創作舞踊のパイオニアたちの作品を復元上演し、日本の洋舞の原点を確認するとともに「今」、そして「未来」を展望します。

振付=伊藤道郎・石井 漢・高田せい子・槍 健次・小森 敏・宮 操子・平山素子・柳本雅寛

チケットお申し込み

『平将門伝説：苅萱姫物語』

さくら

23日 (水)

10月 24日 (木) 18:30開場 | 19:00開演

25日 (金)

全自由席¥4,000 (障害者及び学生割引¥3,000)

*学生=小・中・高校生

お問い合わせ・お申し込み 090-2564-3198 カーニバルカンパニー

Fax.042-522-6135 2carnival@gmail.com

カーニバルカンパニー=郵便振替 00290-1-76224 | 三井住友銀行国立支店 普 7257596

劇場 | シアターX カイ 03-5624-1181



JR 総武線両国駅西口下車、左へ徒歩約3分

シアターX 東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア内